

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2024/10/15号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



中東情勢緊迫、高値波乱の展開が続く

NY原油先物相場は、1バレル=78.46ドルまで上昇して8月15日以来の高値を更新した後、71.53ドルまで急反落し、週末に向けては75ドル台まで切り返す極端に不安定な値動きになった。中東情勢は依然として不安定であり、特にイスラエルがイラン石油施設を攻撃するリスクが強く警戒されている。一方で、現実の供給障害が発生していないため高値では利食い売りを進める動きも強く、極端な高ボラティリティ環境が続いた。

中東情勢は先行きが見通せない状況が続いている。8月1日にイランがイスラエルに対してミサイル攻撃を行ったことで、イスラエルは報復を行う見通しだが、どのような形で報復攻撃が行われるのか不透明感が強い。イスラエルがイランの石油施設を攻撃する可能性が議論されていることはポジティブ。米政府などが石油施設に対する攻撃はやめるように要請しているが、イスラエルはその可能性を排除していない。一方、イランは石油施設攻撃の際には、中東情勢全体が不安定化するリスクを警告している。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（10月4日時点）は、原油が前週比581万バレル増、ガソリンが630万バレル減、石油精製品が312万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

イスラエルがイラン石油施設攻撃だと急伸する可能性も

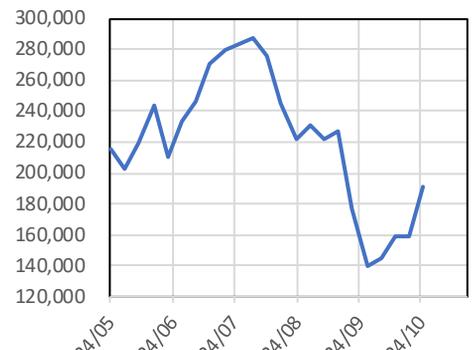
中東情勢のリスク評価が最大の焦点になる。仮にイスラエルがイラン石油施設を攻撃し、イラン産原油供給が大きく落ち込むような事態になると、瞬時に5ドル、10ドルと値上がりするリスクを抱えている。80ドル台乗せの可能性も排除できない環境になっている。石油輸出国機構（OPEC）プラスが大規模な増産余力を有しているが、それでもイランの主要輸出拠点などが攻撃を受けると、短期的な需給の混乱は避けられない。イランがホルムズ海峡を封鎖する、親イラン組織がサウジアラビアを攻撃するといった、混乱が更に広がりを見せるリスクも警戒される。

一方、イスラエルのイランに対する攻撃見送り、もしくは軍事施設に対する限定的な攻撃などでイラン産原油供給の減少が見られないのであれば、このまま70ドル台で波瀾の展開が続く見通し。イスラエルはレバノンのヒズボラに対する攻撃を強化しているが、イランに対する報復攻撃については慎重な協議を続けており、大きな動きが見られない場合には、80ドル台にレンジを切り上げていくのは難しい。イスラエルのイランに対する報復攻撃がどのような形で展開されるのか、マーケットも明確なコンセンサスを形成できていないだけに、その結果次第で短期トレンドは決まる見通し。

今週は14日にOPEC月報、15日に国際エネルギー機関

（IEA）月報が公表される。需要見通しの大幅な引き下げといった動きが見られると、調整売りが広がるリスクがある。また、需要端境期で米原油在庫の増加傾向が続いた際にも、下振れリスクが高まる。ただし、あくまでも中東情勢が最大の関心事になっており、上下双方に対してブレ幅の大きい地合を想定しておく必要がある。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

